

## ●6年制学科のカリキュラムの特色

1年前期から薬学部生と医学部生が早期体験学習で一緒に学び、医療人としての使命に関するグループ討議を行います。3年次にも医学部の実習に加わる機会があります。5年次には実務実習がありますが、病院実習は2つの附属病院を中心に多くの病院で行います。病棟では他大学の看護学部の学生と症例カンファレンスにも取り組み、互いの職種の特長を学び、また他大学の医療系学科の学生とともに活動的に学ぶ機会(専門職連携セミナー)を提供するなど、多職種連携教育(IPE)にも積極的に取り組んでいます。情報ツールや各種自習室が充実しており、問題解決型学習(PBL)や自学自習をサポートする環境が整っています。最近では録画した講義動画を視聴できるシステムを完備し、復習に役立ててもらっています。また、薬学教育センターの教員が低学年から高学年まできめ細やかな学習支援体制を構築し、学生のニーズに応えています。薬剤師として必要不可欠な薬物療法に関する実践的な教育はもちろん、東日本大震災を直に経験した薬系大学として、地域医療や災害医療に貢献できるコミュニケーション力、現場での実践力や自己研鑽力などを兼ね備え、主体的に活躍できる薬剤師の育成を目指しています。

## ●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

学生自身の希望に合わせて、東北6県で実施しています。薬局・病院という慣れない実習環境において、各2ヵ月半の実習が実り多いものになるよう、実習期間中は4年次までに学内で携わった教員による、実習実施内容の週単位のモニタリング、フィードバックの実施および実習施設への訪問を行っているほか、学内に実務実習専用の相談窓口を設けています。また、実務実習終了後は学内で成果報告会を行い、自身の発表や友人の発表内容を共有することで、実務実習での学びをより深めてもらっています。

## ●病院実習先・薬局実習先

主な病院・診療所: 東北医科薬科大学病院、東北大学病院、仙台医療センター、東北労災病院等 約84カ所

主な保険薬局: ヤマザワ調剤薬局、クオール薬局、マリーン調剤薬局 等 約169カ所

## ●アドバンスト(臨床)実習

東日本大震災は、私たちの生活に甚大な被害をもたらし、とりわけ医療の分野に深刻な影響と教訓を残しました。宮城県でも当時、薬剤師が中心となり、単に薬剤の供給に留まらず県民の健康維持全般にわたって大きく貢献したことが記憶されています。4年次後期に開講されている「救急医療・災害医療」では、このような活動に実際に携わり、災害医療に関する豊富な知識と経験をもった教員による実学としての講義(例:震災時における医事・薬事行政の役割と連携、モバイルファーマシーを利用した災害時の薬剤師業務など)を展開しています。また、生涯にわたり研鑽を積むための基盤とすべく、薬剤師の専門性に特化した各分野における活動、役割に関して「認定・専門薬剤師概論」において学びます。さらに近年、再生医療という新しい分野の学問が目覚ましい発展を見せていますが、「細胞と医療」では、基礎薬学からの橋渡しとして“細胞を薬として応用しようとする試み”をテーマとした講義を行っています。

## ●多職種連携教育の具体的な内容

1年前期では薬学部生と医学部生が早期体験学習として同一施設を訪問し、医療人としての使命に関するグループ討議を実施しています。3年次には医学部の解剖学実習見学を行っています。また、4、5年次には、希望者において宮城大学の看護学部生と模擬症例検討会を実施するとともに、東北文化学園大学の医療・福祉系の学部生と模擬症例検討会を実施しています。5年次に東北医科薬科大学病院における実務実習では、本学医学部生ならびに同時に実習している宮城大学の看護学部生と入院患者について検討を行うクリニカルIPEを実施しています。

## ●多職種連携教育を行う医療施設名

1 東北医科薬科大学病院

## ●薬剤師国家試験への取り組み

5年次から国家試験対策確認試験を実施す

ることで、これまでの学習の振り返りと共に各学生の不得意分野の把握・克服に役立てています。5年次の症例解析・処方解析を問題解決型学習(PBL)で学び、基礎系科目をチーム基盤型学習(TBL)でいずれもグループ討議を主体とする能動的学習を行うことにより、科目横断的な理解を促進しながら総合的な学びで基礎を固めます。6年次には国家試験対策模擬試験を繰返し実施し、後期には演習科目でさらに統合的に学びます。成績が伸び悩んでいる学生については、補習授業を実施するなどして対応しています。また、情報科学センターのPCを利用した過去の国家試験問題や演習問題による自己学習が行えるよう、十分な環境を整えています。

## ●卒業研究について

6年制 5年次と6年次の2年間は、分子生体膜研究所の教室を含む23教室(生化学系、物理分析系、創薬系、衛生系、薬理系、薬剤系、実務臨床系など)のいずれかに配属となり、教員による指導のもとで医療や薬学のテーマで実験研究、調査研究、症例研究等を行います。その過程で問題発見解決能力、コミュニケーション能力、自己研鑽能力が醸成されていきます。研究成果は6年次の7月下旬にポスター発表と質疑応答を行い、全学生がその内容を卒業論文としてまとめ、大学に提出しています。卒業研究を通じて、より高度な知識を修得し、さらに実践的な問題解決能力を備えることを目標としています。

4年制 3年次後期と4年次の1年半の期間、配属教室で各研究課題に取り組みます。各配属教室の卒業指導方針に沿って指導を受け、各課題研究に取り組みます。その過程で問題を発見し解決する確かな能力を養い、研究、開発、技術職など様々な分野で活躍できる多様な人材を育成します。4年次の2月には「卒業研究発表会」が開催され、優秀な研究発表を行った学生に対し優秀発表賞が授与されます。研究成果は卒業論文としてまとめ3月に提出します。

## ●4年制の教育目標・育成する人材

生命薬科学科では、薬学・生命科学に携わる人としての心豊かな人間性と倫理観を持ち、医学と薬学の2つの領域にまたがる生命科学を探究するとともに高度の専門知識を修得し、健康に関する様々な分野で活躍する人材の養成

を目指します。卒業研究では問題を発見し解決する確かな能力を養い、研究、開発、技術職など様々な分野で活躍できる多様な人材を育成します。本学大学院をはじめとする大学院への進学を希望する学生が多いのも特徴です。日々発展する生命科学に対応した「くすりと生命現象との関わり」を理解する人材は、製薬会社、化学系・バイオ系会社など多岐にわたる業界で活躍しています。

## ●4年制のカリキュラムの特色、独自の取り組み

生命科学や基礎薬学を土台に、医学と薬学の二つの領域にまたがる生命科学の専門的な知識・技術を修得できるような教育課程、すなわち他の4年制理系学部には無い独自のカリキュラムを展開しています。早期には教養教育、情報教育、社会薬学教育などを通じて、医療・生命に関わる者に必要な知識と心構えを身につけます。専門教育は先端的生命科学領域を一層充実させた医薬関連科目、卒業研究などで構成しています。また、大学院進学や研究者を目指す学生への研究指導を充実させ、多様な進路を考慮したキャリア支援講座やインターンシップの実施など、それぞれの進路にあわせた科目も開講します。活躍の場は製薬会社、化学系・バイオ系会社にとどまらず、食品、化粧品会社など多岐にわたります。

## ●4年制学科から大学院に繋ぐ研究期間の確保など取り組みを教えてください。

生命薬科学科では、3年次前期に研究室配属の希望調査を行い、調整した上で配属教室を決定します。3年次後期から各配属教室で卒業研究を始めるわけですが、3年次後期は毎日午後以降は研究に充てることができます。また3、4年次の授業は選択科目が多く配置されているため、学生にとって自由度が大きくなり、特に4年次では自分のペースで研究に没頭できるようなカリキュラムになっています。したがって、大学院進学を目指す学生にとっては修士課程の前段階として十分な自己研鑽の時間を確保できます。特に大学院進学後も配属教室を変更しない場合、研究室にも十分慣れていることから、進学後も非常にスムーズに余裕をもった研究生生活を送ることが可能です。

## ●入試に合格するためのアドバイス

試験科目となっている理科、数学、外国語(英

語)の基礎学力をしっかりと身につけてください。

## ●入試の変更点

薬学科の【理科】出題科目において現行の『化学基礎・化学(必須)』から『化学基礎・化学』または『生物基礎・生物』のいずれか1科目を選択に変更

## ●過去問を公開しておられますか

WEB上には公開していません。

## ●入試に面接を課すとき、主な質問内容やアドバイスを教えてください

質問内容は公表していません。

## ●入試に小論文を課すとき、これまで出題したテーマをいくつか教えてください。

小論文はありません

## ●大学独自の奨学金制度

【東北医科薬科大学創設者高柳義一奨学金】人物・学業とも健全かつ優秀で、修学上経済的に困難な学生へ貸与する奨学金です。

○貸与月額=64,000円(無利子貸与)

【特別奨学金制度】学業優秀な新入生および在学学生を対象とした給付型の制度です。

○給付額=新入生:入学金相当額、在学生:240,000円(年額)

## ●地域のアパート・マンションのモデル家賃

不明。契約学生寮なし

## ●オープンキャンパスの日程

オープンキャンパス2023

日程:8月5日~8月6日

内容:学部説明会、模擬講義、各種相談コーナー、キャンパス見学 等